

大分県

届出事業所からの「水域への人に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（平成27年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	大分市	474,587	砒素及びその無機化合物 120,000	セレン及びその化合物 76,000	カドミウム及びその化合物 72,600
2	別府市	371,374	砒素及びその無機化合物 150,020	EPN 139,740	ほう素化合物 18,054
3	日田市	107,698	EPN 50,116	セレン及びその化合物 2,950	鉛化合物 2,950
4	佐伯市	56,617	EPN 39,049	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。) 5,337	6価クロム化合物 1,702
5	中津市	36,411	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル 34,000	EPN 680	スチレン 370
6	津久見市	26,130	EPN 10,200	カドミウム及びその化合物 1,980	ふっ化水素及びその水溶性塩 624
7	速見郡日 出町	18,812	EPN 13,090	水銀及びその化合物 800	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 800
8	国東市	17,750	EPN 12,359	6価クロム化合物 730	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。) 727
9	臼杵市	10,689	EPN 1,734	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。) 1,032	水銀及びその化合物 1,000
10	杵築市	8,444	EPN 5,712	水銀及びその化合物 400	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 400